

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成26年3月20日(2014.3.20)

【公表番号】特表2013-523229(P2013-523229A)

【公表日】平成25年6月17日(2013.6.17)

【年通号数】公開・登録公報2013-031

【出願番号】特願2013-501649(P2013-501649)

【国際特許分類】

A 6 1 M 5/32 (2006.01)

A 6 1 K 47/34 (2006.01)

A 6 1 K 9/00 (2006.01)

A 6 1 K 38/00 (2006.01)

A 6 1 K 31/4196 (2006.01)

A 6 1 K 31/519 (2006.01)

A 6 1 L 31/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 M 5/32

A 6 1 K 47/34

A 6 1 K 9/00

A 6 1 K 37/02

A 6 1 K 31/4196

A 6 1 K 31/519

A 6 1 L 31/00

A 6 1 L 31/00 P

【手続補正書】

【提出日】平成26年1月28日(2014.1.28)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

移植片を伴う注射用カニューレであって、該移植片が、少なくとも1つの生理学的に許容可能な材料により該注射用カニューレ内に少なくとも1つの長軸側面の少なくとも一部にわたって脱着可能に固定されることを特徴とする、移植片を伴う注射用カニューレ。

【請求項2】

少なくとも1つの生理学的に許容可能な材料が、1つ若しくは複数の半固体材料及び/又は1つ若しくは複数の硬化材料から選択されることを特徴とする、請求項1に記載の移植片を伴う注射用カニューレ。

【請求項3】

少なくとも1つの生理学的に許容可能な材料がポリマー材料を含むことを特徴とする、請求項1又は2に記載の移植片を伴う注射用カニューレ。

【請求項4】

移植片が、該注射用カニューレ内に少なくとも1つの長軸側面の表面領域の最大50%にわたって脱着可能に固定されることを特徴とする、請求項1～3のいずれか一項に記載の移植片を伴う注射用カニューレ。

【請求項5】

移植片が、該注射用カニューレ内に少なくとも1つの長軸側面の表面上の少なくとも1つの点にわたって脱着可能に固定されることを特徴とする、請求項1～4のいずれか一項に記載の移植片を伴う注射用カニューレ。

【請求項6】

少なくとも1つの生理学的に許容可能な材料が、0.1mm～1.2mmの層厚を有することを特徴とする、請求項1～5のいずれか一項に記載の移植片を伴う注射用カニューレ。

【請求項7】

側方開口部を有することを特徴とする、請求項1～6のいずれか一項に記載の移植片を伴う注射用カニューレ。

【請求項8】

移植片が、該注射用カニューレの該側方開口部の領域に配置されることを特徴とする、請求項7に記載の移植片を伴う注射用カニューレ。

【請求項9】

移植片が、ゴセレリン、リュープロレリン、アナストロゾール(anastrozole)、リスペリドン及びオクトレオチドからなる群から選択される有効成分を含むことを特徴とする、請求項1～8のいずれか一項に記載の移植片を伴う注射用カニューレ。

【請求項10】

移植片が、乳酸及び/又はグリコール酸のポリマー及びコポリマー、又はポリラクチド及びポリ-ラクチド-コ-グリコリドからなる群から選択されるプラスチック材料を含むことを特徴とする、請求項1～9のいずれか一項に記載の移植片を伴う注射用カニューレ。

【請求項11】

移植片が、該生理学的に許容可能な材料と同一の材料を何ら含まないことを特徴とする、請求項1～10のいずれか一項に記載の移植片を伴う注射用カニューレ。

【請求項12】

注射用カニューレ内に移植片を脱着可能に固定する方法であって、移植片を該カニューレ内に導入する前に、流動性の生理学的に許容可能な材料を該カニューレ内に導入して、任意に該カニューレ内に分配することを特徴とする、注射用カニューレ内に移植片を脱着可能に固定する方法。

【請求項13】

流動性の生理学的に許容可能な材料が、半固体材料又は硬化性ポリマー材料から選択されることを特徴とする、請求項12に記載の方法。

【請求項14】

移植片を該カニューレ内に導入する前に、硬化性ポリマー材料を該カニューレ内に導入して硬化させることを特徴とする、請求項13に記載の方法。

【請求項15】

移植片を該カニューレ内に導入する前に、該カニューレ内に導入した該流動性の生理学的に許容可能な材料の一部を、該カニューレから再び除去することを特徴とする、請求項12～14のいずれか一項に記載の方法。

【請求項16】

移植片を該カニューレ内に導入する前に、該硬化ポリマー材料の一部を該カニューレから再び除去することを特徴とする、請求項14に記載の方法。

【請求項17】

注射用カニューレが側方開口部を有することを特徴とする、請求項12～16のいずれか一項に記載の方法。

【請求項18】

移植片を、該注射用カニューレの該側方開口部の領域に脱着可能に固定することを特徴とする、請求項17に記載の方法。

【請求項19】

流動性の生理学的に許容可能な材料を、該注射用カニューレの該側方開口部を介して該注射用カニューレ内に導入することを特徴とする、請求項 18 に記載の方法。

【請求項 20】

移植片が、ゴセレリン、リュープロレリン、アナストロゾール、リスペリドン及びオクトレオチドからなる群から選択される有効成分を含むことを特徴とする、請求項 12 ~ 19 のいずれか一項に記載の方法。

【請求項 21】

移植片が、乳酸及び / 又はグリコール酸のポリマー及びコポリマー、又はポリラクチド及びポリ - ラクチド - コ - グリコリドからなる群から選択されるプラスチック材料を含むことを特徴とする、請求項 12 ~ 20 のいずれか一項に記載の方法。

【請求項 22】

移植片が、請求項 12 ~ 21 のいずれか一項に記載の方法に従って、該注射用カニューレ内に脱着可能に固定されることを特徴とする、請求項 1 ~ 11 のいずれか一項に記載の移植片を伴う注射用カニューレ。

【請求項 23】

側方開口部を有するカニューレ内に、該開口部の反対側に位置する該カニューレの内壁上の該開口部の領域における流動性の生理学的に許容可能な材料により、脱着可能に固定される移植片を含む、請求項 22 に記載の移植片を伴う注射用カニューレ。